

表1 「豊かにあれ健康づくり運動」策定経過

年月	プロジェクトチーム	市町村課長・担当者会議	地域計画検討会議
12.4	健康日本21の共通認識		
12.5	地域の健康課題の検討	健康日本21の共通認識 地域の健康課題の検討	
12.6	地域の健康課題の検討		
12.7	重点課題の選定 プランの策定方針		健康日本21の共通認識 地域の健康課題の検討
12.11	市町村プラン案の策定	市町村プラン案の策定	
12.12	プラン案の検討		地域重点課題の選定
13.1	プラン案の検討		
13.2	プラン案の検討	プラン案の策定	
13.3			プランの策定
随時	市町村ヒアリング		

表2 栄養・食生活の目標（南勢志摩地域全体）

目 標	野菜たっぷり・身体いきいき
目標指標	<p>【保健水準の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高血圧の減少 ●高脂血症の減少 <p>【住民自らの行動の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●成人1日あたり平均野菜摂取量の増加（毎食たっぷり1皿以上、1日275g→350g以上） ●外食・加工食品を購入するときに栄養分表示を参考にする人の増加（31%→50%以上） <p>【行政・関係機関の取り組みの指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヘルシーメニューや栄養情報を提供する飲食店および小売店の増加 ●食育（生物を育み、命の大切さを知り、それを適切に食べることを学ぶ）を実践する園および学校の増加 ●食のNPOの増加 ●住民への栄養情報提供の増加
年次計画	<p>13年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康づくりの店においてヘルシーメニューの提供 ●健康づくりの店地域の拡大 ●ホームページ作成（健康づくりの店情報の提供） ●南勢志摩地域栄養管理ネットワーク研究会レシピ集作成 ●市町村栄養士研修会の開催 ●食のボランティア研修会の開催 <p>14・15年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●13年度事業の継続・見直し ●ホームページでレシピの追加募集 <p>16年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●県民栄養調査により見直し

表3 身体活動・運動の目標（南勢志摩地域全体）

目 標	ウォーキングで身も心もリフレッシュ!
目標指標	<p>【保健水準の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高脂血症の減少 ●20～60歳男性の肥満者の減少 ●40～60歳女性の肥満者の減少 <p>【住民自らの行動の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日常生活における歩数の増加 ●運動（ウォーキング）を週1～2回している人の増加 <p>【行政・関係機関の取り組みの指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習（運動、ウォーキング）の場と機会の提供に満足する人の増加 ●地域、職場で運動（ウォーキング）に関する学習や活動を進めるグループの増加 ●いままあるスポーツ・レクリエーション（ウォーキング）施設の利用者の増加 ●新たなスポーツ・レクリエーション施設の整備数
年次計画	<p>13年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●豊かにあれウォーク（身体づくり編）の普及、アドバイザー養成支援 ●豊かにあれウォーク（歩き方編）の実施・評価 ●ウォーキンググループ、アドバイザー、施設、マップなどの実態調査 ●スポレク祭との協賛（教育委員会、体育指導員などと協働し、ウォーキングを実施） <p>14年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ●豊かにあれウォークの普及 ●13年度の実態調査の結果にもとづく新たな計画の策定、実施

指標の設定、プランの策定や推進が可能になりました。

具体的なプランを策定するため、管内の一七市町村の課長・担当者会議と、地域の医師会、歯科医師会をはじめ学校、大学、ボランティアおよび市町村からなる新たな健康づくり地域計画検討会議を設置し、会議を開催しました（表1）。管内の全市町村が地方計画をつくるという共通認識から始まり、地域の健康課題の検討から重点課題の選定、プランの策定へと進みました。その間、プロジェクトチームは、随時市町村と話し合い、市町村訪問をしてヒアリングを行いました。

平成十三年度は、策定したプランの推進のために地域計画検討会議を地域計画推進会議に発展させ、進化管理や環境整備の調整を行いつつ、健康づくりを推進しました。

目標指標と年次計画を設定 栄養・運動、喫煙対策など重点

全一七市町村は、健康日本21の九分野七〇項目の目標から、重点的に取り組む課題を選定し、二〇一〇年に向けてめざすべき目標をおき、年次計画を立てました。

目標はみんなで取り組めるように理念的な目標あるいはめざすべきゴールを表し、目標の達成状況をみる目標指標は、（１）保健水準の指標、（２）住民自らの行動の指標、（３）行政・関係機関の取り組みの指標の三つを設定しました。

ファーストステージ（二〇〇一年～二〇〇五年）では、地域の実態調査の実施、推進体制の整備、健康づくりの実践を行い、二〇〇四年に第二回実態調査を実施し、二〇〇五年に中間評価、計画の修正をします。セカンドステージ（二〇〇六年～二〇一〇

年）では、推進体制を充実し、二〇〇九年に第三回実態調査、二〇一〇年に総合評価を行う計画です。

重点課題は、十二年度の地域計画検討会議で検討した結果、①栄養・食生活、②身体活動・運動、③歯の健康、④喫煙対策を選定しました。

① 野菜たっぷり・身体いきいき

「もてなし力」アップ

観光地、伊勢志摩の特性に合わせて、飲食店と協働し、健康的な食環境整備と集客交流をめざした「健康もてなしの店」を推進しています。

栄養成分表示などによる野菜やカルシウムの摂取不足の改善のほか、豊かな食文化や郷土料理を取り入れ、長年育み受け継がれてきた食文化の継承と県産品の消費拡大、バリアフリー、分煙、禁煙などにも取り組

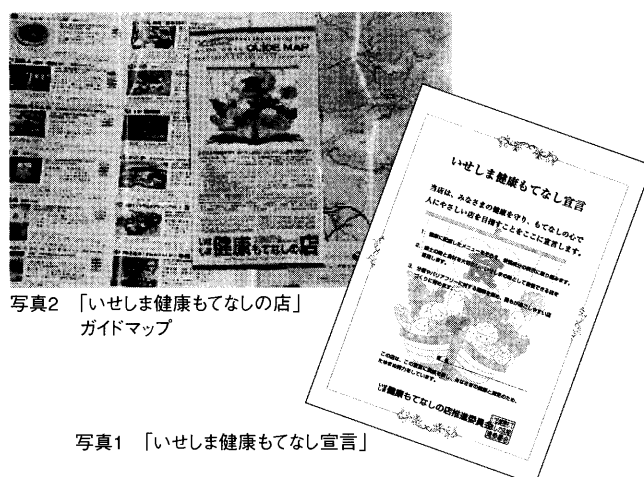


写真2 「いせしま健康もてなしの店」ガイドマップ

写真1 「いせしま健康もてなし宣言」